



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会 長/松 田 基
幹 事/荒 川 泰 士
会報委員長/星 野 努

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2530

第2661回 平成30年2月28日(曇り)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 四万十市国際交流員

3月7日(水)：四大奉仕委員長「家庭集会の報告」

3月14日(水)：会員スピーチ

【会長挨拶】松田基 会長

- ・皆さんこんにちは。今日で2月も終わりです。少しずつ寒さも和らいできましたが、今夜から春の嵐がくるそうですので、ご注意ください。
- ・本日のゲストは、四万十市国際交流員の田小矯様(でんしょうきょう)です。のちほどスピーチをお願いしております。
- ・新聞コラムを紹介します。「戻ってくるなんて信じられない」。サッカーJ1ジュビロ磐田のムサエフ選手(ウズベキスタン)が、紛失した財布を3日ぶりに手にして感激する様子が新聞で紹介された。異国で接した善意には感激以上に驚きが大きかったようだ。「落とし物は交番へ」は日本人の道徳的規範の一つである。「財布を落とした人が困っているだろうから」と交番に届けた人は同じ気持ちだ。日本には三方良しの精神「売り手よし・買い手よし・世間よし」がある。日本の治安の良さ・おもてなしの心に通じるものである。しかし、昨年も一流企業による不正会計、無資格検査、製品データの改ざん等で大企業の不祥事が発生した。グローバル時代、AI時代だからこそ「心の豊かさ」を大切にしたいものである。

【幹事報告】福原 副幹事

- ・3月のロータリーレート 1ドル=108円
- ・ガバナー事務所より
第42回少年少女キャンプ申し込みについて
3/26～30神戸YMCA余島キャンプ場
小学2年生～高校3年生の男女
- ・ガバナーエレクト事務所より
来年度職業奉仕委員会より地区研修・協議会
資料用アンケート回答のお願い
- ・土佐の小京都中村550年祭実行委員会より
オープニングセレモニー開催のご案内
3/10(土)9:50～12:20
一條神社及び郷土資料館

【委員会報告・会員発言】◆大杉ゴルフ愛好会長

来月のコンペのお知らせです。3/18(日)四万十CCにて行いますので参加をお願いします。

◆田辺 豊 国際奉仕委員長

皆さんから頂いた書き損じハガキ等を換金し、¥28,760をガバナー事務所へ送金しました。ご協力ありがとうございました。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 田 小嬌 (でん しょうきょう) 様 四万十市国際交流員



皆さん、こんにちは。私の四万十市生活をテーマに、国際交流員としての主な仕事と四万十市に来て感じたことをお話しします。

私は、中国の蘇州大学で日本語の勉強を始めました。大学3年のときに宮崎県の大学に1年間留学し、卒業後は中国で日系企業に就職、2年間勤めた後、平成27年4月より国際交流員として四万十市にやってきました。

私は「中国の蘇州から来ました」というと、年配の方からは“蘇州夜曲”の蘇州だねと良く言われました。

国際交流員としての私の仕事を紹介します。

- ①中国語講座：週に1回 月曜日の夜開催
- ②料理教室：四万十市の女性職員向け、各地域の健康福祉委員会での中国料理教室
- ③中国文化の紹介：各地域の健康福祉委員会で料理教室の前段として行う
- ④学校訪問：幼稚園、小中高校への訪問
- ⑤異文化理解講座：年に1回開催。県庁にいる他国の交流員と一緒に2~3名で行っている
- ⑥通訳・翻訳：中国からの訪問団等の通訳、観光パンフレットや居酒屋メニュー等を翻訳しています。
- ⑦読み聞かせ：子供を対象に図書館にて行っています
- ⑧日本文化の体験：田植え、稲刈り、お祭りへの参加、餅つき体験など。以上のようなことをしています。

次に私が感じた日中生活の違いです。一番大きな違いは日本は静かで、中国は賑やかです。四万

十市や宮崎県は田舎なので静かということもありますが、中国は人口14億人なので、どこにいても人だらけで、賑やかというより煩いというイメージです。特に旧正月（春節）は中国人にとって大事な祝日で、どこにいても混んでいます。

先日まで帰省していましたが、新しく出来たショッピングモールの人気レストランでは順番待ちで2時間半待ちました。実家に帰ったときは、家族や親戚が集まって食事をします。食文化での違いですが、中国では料理を出来るだけ多く出します。日本では、残さずきれいに食べることで料理を作ってくれた方への感謝の気持ちを表すと思います。

中国、台湾のほとんどの人たちは春節の時に魚の料理を食べます。と言いますのも、これは中国語のある成語が由来となっています。

“年年有余”は「毎年黒字でお金が余る」という意味です。年年有余の余の発音は (yu) で、魚の発音も (yu) 。年年有余を年年有魚にすることで、「毎年お金が余って、裕福になれますように」と縁起を担いでいるようです。

四万十市に来て感じたことは、美しい景色・優しい人々・美味しい料理です。宮崎の時にも感じていましたが、今では四万十市のファンになっています。中国の家族や友達、日本で出会った友達にも四万十市に遊びに来てくださいと言っています。実際にたくさんの方が遊びに来てくれました。

これからも四万十市ファンとしてPRしたいと思います。 ご清聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

荒川幹事：大塚さんの愛娘、華子さんのご結婚おめでとうございます。

大杉（幸）会員：星野会員の盆栽が週報に掲載されています。私の家の玄関に置き場所を用意していたのに残念。 白木財団委員長ラストスパートがんばれ！

川村会員：2人目の孫が、昨日生まれました。女の子です。

梅原会員：川村宮司、重ねておめでとうございます。

一藤会員：青木会員のご令嬢、トモエさんの高校卒業おめでとうございます。

井上・白木（久）・仙石会員：母校が5年ぶり18回目の選抜甲子園出場を決めました。ご寄付頂き、ありがとうございました。

大塚会員：孫のような娘が結婚しました。クラブよりお祝いを頂き、心からお礼申し上げます。

【出席報告】 ・会員総数50名（免除会員4名）

・本日の出席/32名 71.11%

・先週の訂正 MU5 66.67%→77.78%